

With



ウィズセンター情報誌

- 女性のチャレンジ支援講座
正木 ゆきさん (㈱もっと 代表取締役)
- 参画社会へ Let's Go!
広報たまの「ら・めーる」編集委員 (玉野市)
- ワーク・ライフ・バランス講演会
大沢 真知子さん (日本女子大学教授)
- 平成20年度 キャリアアップ講座



「とうさんへ」 柴田美奈さん (奈義町)

平成17年度 絵てがみコンテスト ウィズ賞受賞作品

パート・派遣社員から企業の重役まで様々なキャリアを積み重ね、現在は5人の子どもの持つシングルマザー社長として、関西を中心に活躍する正木ゆきさんから、起業ノウハウや夢への想いなどを元気いっぱいにお話していただきました。



講演 「夢をもとうよ! ~元気☆勇氣☆本気~」

講師 正木 ゆきさん (株)もっと 代表取締役

プロフィール

大阪府出身。シングルマザー社長として、ラジオ番組をはじめ、様々な企画・制作を手掛ける。また、関西の様々な分野で活躍する女性50人を紹介した「元気! 勇氣! 本気!」の出版や女性の起業・育児をテーマにした講演会活動などで活躍中。

岡山の思い出

岡山は私にとって第二の故郷だと思っています。小学4年生の時に三軒小学校(岡山市)へ1年ほど通いました。大阪生まれの大阪育ちで自然を知らなかった私は、岡山で初めてれんげの蜜を吸ったことは未だに忘れません。私の中では、岡山は自然溢れる街というイメージがずっとあります。でも、自分が何処に住んでいたかはわからないんです。両親も亡くなっており、知る者がいません。以前、講演で岡山へ来た時「僕も三軒小です」という人が主催者の中にいて、三軒小学校へ連れて行ってくださり、久しぶりに小学校を見たんです。「うわーこんな所やったんか」と記憶を戻して、私の家は何処かなと思って探したんですけどわからないんです。「探偵ナイトスクープに出すわ」と言いながらも、結局見つかりませんでした。

起業へのアドバイス

起業のコツは根性一発です。今は起業もしやすくなっています。でも、安易な気持ちで会社を起すのは絶対やめた方がいいと思います。なぜかという、会社を立ち上げるのは簡単ですが、会社を潰す時はすごいお金がかかります。

起業する場合、自分1人の場合は屋号を作るだけで会社組織にする必要もありませんが、会社組織を考えた場合、そこで働く社員の生活もかかってくるので、何があっても社員は守り抜く、何があっても会社は潰さないという気持ちが必要です。ほんまに根性です。会社の社長は苦しい時もいっぱいあります。その代わり楽しいこともいっぱいあります。どっちが大きいかというと、周りから見たら苦しい時の方が多かったかもしれませんが、案外苦しいことは忘れて、楽しいことを多く憶えています。実際、社長になっていなかったら会えなかったであろう人に会えたり、出来なかったであろうことが出来たりといろいろなことがありました。

起業しようかどうかという時、もし勤めをしていれば、その会社の社長を見てください。サラリーマンは基本的に自分の会社の社長の給料を超えることは出来ません。です

から、社長自身があなたの望むような生活をしているか。あなたが思っている生き方をしているか。キラキラしているか。あなたの理想と一致していれば、勤め続けてもいいと思います。しかし、その社長が「うーん?」と思うような人でしたら、考えた方がいいかもしれません。それが別の会社を選ぶということなのか、独立することなのかはわかりません。いろいろと相談をして最終的に決めるのは自分自身です。

私の夢

私の夢はマイビーチでイルカを飼うことです。イルカが大好きなんです。とても癒されます。以前、大阪にある「海遊館」へ取材に行った際に、イルカの飼育係と仲良くなりまして「正木さんがイルカを飼う時は、僕が飼育係やるわな」と言ってくれましたので1人は飼育係を見つけています。「マイビーチでイルカ飼うねん」とずっと言い続けていたら、私の誕生日にスタッフが「イルカと泳がしたるわ」と言って、和歌山県の串本の方にあるイルカと一緒に泳げる所へ連れていってくれました。イルカに乗って、抱きついて、背びれにつかまって、本当に癒されました。

夢は叶うって言うでしょ。「叶」という字は口に十と書きます。みなさんも、何でも思ったことを言ってください。不思議なもので、口に十回出したら叶うんです。全部が叶うわけではないけど、叶うための人々が近寄って来るというのは本当だと思います。

誰にでも簡単にできるので、やってみよう!

- 自分の事を好きになる。自分が好きじゃないと他人は好きになってくれませんよ。
 - 運がいいと思うこと。ツイていると思う事。きっとそう思うことでいい事がおこることでしょう。
- お金のかからない自分で出来る事です。まず出来る事からはじめてみましょう。



仕事、家庭、地域など様々な活動について、自らが希望するバランスで展開できるワーク・ライフ・バランス社会とはどのような社会なのか。内閣府のワーク・ライフ・バランスに関する専門調査会委員を務める大沢真知子さんにお話をいただきました。☒



講演 ☒ 「個人が主役! ワーク・ライフ・バランス社会って何?」 ~仕事もプライベートも大切にできる社会をめざして~

講師 ☒ おおさわ まちこ
大沢 真知子さん (日本女子大学人間社会学部現代社会学科教授) ☒

ワーク・ライフ・バランスは人生のデザイン

ワーク・ライフ・バランスとは自分が主導権を握って、自分の時間を割り振って、仕事、プライベート、家庭などをうまく融合させ、良い影響を与えられるように自分の人生をデザインしていこうというものです。

人生で何が大切なのかは、人によって異なりますが、次の4つの領域を考えていくと良い人生になるのではないかと思います。仕事はとても大切ですし、健康や自己啓発も重要です。また、人生良い時もあれば悪い時もあり、その悪い時に誰が助けてくれるのかと言うと、やはり友人や家族です。それから社会貢献、あるアメリカ人は「遺産を残す」という表現をしておりましたが、お金を残すということではなく、次の世代により良い社会を残すというような意味に捉えています。

4つの領域

- ① 仕事
- ② 自分 (健康・自己啓発)
- ③ 人間関係 (家族・友人)
- ④ 社会貢献

4つのボール (領域) をジャグリング

人生の中で、この4つのボール (領域) をジャグリングのように落とさないよう上手く回していくことがワーク・ライフ・バランスであると東京スターバンク頭取のタッド・バッジさんは語っていました。4つのボールは大きかったり小さかったりします。仕事に油がのっているときや責任ある仕事を任されたときは、「仕事」というボールが大きなものになり、若い頃は「自分」というボールが大きかったり、高齢になったら健康に時間を使うようになるかもしれません。子どもが生まれたときには「人間関係」というボールが大きくなります。

メンタルヘルスとの関わり

ワーク・ライフ・バランスはストレスマネジメントでも

あります。例えば、共働きの女性はとても大変です。しかし、仕事と子育ての2つの世界があることによって救われていると言う女性も多いのです。子どものいろいろな問題があっても、仕事をしていると子どもの問題を忘れられ、逆に子どもと一緒に遊んでいると仕事のことを忘れられる。それは人生の中でいろいろな活動領域を持っている人の方がストレスが少ないということです。その意味でワーク・ライフ・バランスを推進することは、個々の会社にとっても非常に重要な問題となっており、国民全体のメンタルヘルス問題へと繋がっています。

足るを知る

私たちが住んでいる社会は「もっともっと」という社会です。仮に50㎡の家を買ったとします。その時はすごく嬉しいけれども、隣の家が65㎡あったりすると、もっと大きな家に住みたいと思うようになるんですね。また、車を所有していないときは色も形もこだわらない、動けばいいと。でも、**だんだん**ともっといい車に乗りたいたいようになります。つまり、もっといいものを持ちたいと思わせる社会に私たちは住んでいます。それが消費社会です。しかし、それで本当に豊かな人生が送れるのでしょうか。そこから「足るを知る」というところに自分の意識を変えていかなくてははいけません。常にもっといい車を持って、もっと大きな家に住んで、もっとお金もたくさん持っていたいと考えてのではなくて、自分にとっての十分を考える。すると、お金はこれぐらいにしておいて、あとは時間をもって、その時間で自分の趣味を豊かにしたい等。自分自身の「足るを知り」、その基準をもって自分の人生を生きることが、主導権を持って自分の人生をデザインすることに繋がるのではないかと思います。時代の変化やプレッシャーに過度に反応せずに、自分なりの「足るを知る」ということをお勧めしたいと思います。

参画社会へ Let's Go!

たくさんの人たちに知ってほしい ～広報たまの「ら・めーる」編集委員(玉野市)～

年2回「広報たまの」に掲載される男女共同参画ページ「ら・めーる」。平成7年に女性情報ページとして初めて登場し、翌年、公募によりページのタイトルを「ら・めーる」としました。これまでに延べ27名の市民編集委員が携わってきました。平成19年・20年度の担当である安部一子さん、藤田かおるさん、雁木美千代さんにお話を伺いました。

「ら・めーる」の編集に関わろうと思った動機は？

安部 地元の造船会社に20年間勤務しながら、家事・育児をこなす中で、子どもが小中学校時代に辛い時期を送ったことがあり、自分自身も悩みました。仕事・家事・育児をこなし、夫、舅、姑に仕えた昔の女性を“偉い”とする夫の考え方もなかなか変わりません。次世代の人たちのためにも環境づくりをしていきたいと思いました。



あべかずこ
安部一子さん

藤田 知りあいだった前任者から声をかけられました。男女の役割はあって当然だと思っていたので、最初は「男女平等」ということがしっくり来なかったのですが、いろんな考え方を知ってみようかなと思ったのがきっかけです。

雁木 以前は働いていたのですが、一人目の出産の時は育児休業を取得し、仕事に復帰しました。二人目の出産を機に退職しましたが、このまま家にいるよりは、やはり何かの社会活動に参加していたと思ったんです。



がんぎみちよ
雁木美千代さん

編集作業をしていく中で感じることは？

安部 共働きをしている子育て中の夫婦取材したのですが、育児中はパートタイム勤務へ転向するなど会社の理解を得て、見事に仕事と子育てを両立しておられました。出来上がった記事を見て本当にうれしかったです。今後、理解のある企業が増えることを願っています。

藤田 以前はコミュニケーションが苦手だったのですが、積極的に人の考えを聞いてみようかなと思うようになりました。家庭では家事を手伝ってくれる夫を寛容な目で見てきました。夫の影響か、男の子も女の子も料理をす



ふじた
藤田かおるさん

ることがあります。

雁木 まだ子どもが小さいので、他の編集委員さんに負うところも多いですが、自分自身の中に新しい発見もあります。特にテレビや新聞



などに出てくることには敏感に目を留めるようになりました。

..... みんなに参加してもらって、もっと知ってほしい

30代、40代、50代と年代の違いを生かしながら、編集作業を行っているみなさん。4～5回の会合の中で企画、取材、記事の執筆などをこなしています。『たまの参画フェア』の特集では写真をモザイクのように構成し、たくさんの方々が登場しました。「市民が登場することで、関心を持ってもらえるように」「みんなに元気になってもらえるような紙面をつくっていきたい」「たくさんの人に参加してもらって、もっと共同参画について知ってほしい」「男性にも編集委員として参加してもらいたい」と口々に語る編集委員のみなさん。「ら・めーる」がより多くの人たちに親しんでもらえるページとして発展していくといいですね。

(取材：情報コーナー 小林)

●平成20年度 キャリアアップ講座（女性のチャレンジ支援事業）☒

●再就職応援コース（再就職のチャンスは準備している『あなた』のところへやってきます!!）☒

応募資格：子育て等でいったん仕事を中断し、再就職を希望している女性で全期間出席できる方☒

内 容：●ス キ ル 編 パソコンエクセル検定3級程度の技術を学びます。☒

●アビリティ編 就職活動の仕方や再就職に際しての予備知識を学びます。☒

『働く前に知っておきたいワークライフセミナー』☒

「ビジネスマナー」「応募書類の書き方」「労働契約・社会保険・税金」「面接対策」「求人状況」等☒

受講料：無 料（教材費は実費負担）☒

受講期間：22日間（1日5時間）☒

定 員：28名（選考により決定）☒



講座日程☒

	受 講 期 間 ☒	会 場 ☒	申 込 受 付 期 間 ☒
☒	5月 7日(水)～6月12日(木)☒	ウイズセンター、西日本電子計算学院第1ビル☒	4月15日(火)～ 4月18日(金)☒
岡山地区☒	11月12日(水)～12月18日(木)☒	ウイズセンター、TAC岡山校☒	10月28日(火)～10月31日(金)☒
☒	1月20日(火)～ 2月26日(木)☒	ウイズセンター、専門学校ビーマックス創立記念館☒	12月16日(火)～12月19日(金)☒
津山地区☒	5月14日(水)～ 6月19日(木)☒	津山男女共同参画センター「さん・さん」☒	4月23日(水)～ 4月26日(土)☒
倉敷地区☒	9月18日(木)～10月24日(金)☒	水島勤労福祉センター☒	8月19日(火)～ 8月22日(金)☒

●夢実現応援コース（あなたの活躍の場、みつける、つながる、広げる!!）☒

応募資格：再就職、起業、転職、社会貢献、NPO等にチャレンジしたい女性で、全期間出席できる方☒

内 容：●ス キ ル 編 パソコンエクセル、ワード、パワーポイントの基礎を学びます。☒

●アビリティ編 自分らしい働き方を探すための知識を学びます。☒

『実現したい【自分☆】を考えるワークライフセミナー』☒

「マイキャリアを再確認」「コミュニケーションスキル」「接客マナー」「夢にチャレンジ」等☒



講座日程☒

	受 講 期 間 ☒	会 場 ☒	申 込 受 付 期 間 ☒
岡山地区☒	6月25日(水)～7月31日(木)☒	ウイズセンター、西日本電子計算学院第1ビル☒	6月 3日(火)～ 6月 6日(金)☒
	1月27日(火)～ 3月 5日(木)☒	ウイズセンター、西日本電子計算学院第1ビル☒	1月13日(火)～ 1月16日(金)☒

※受講料、受講期間、定員等は再就職応援コースと同じです。☒

※申し込み方法等、詳しいことはウイズセンターへおたずねください。☒

問い合わせ先 就業相談窓口：☎086-235-3309☒

メールマガジン☒
配信のおしらせ☒

ウイズセンターでは、センター主催の講演会や新刊図書のご案内、内閣府等の情報をいち早く皆様にメールマガジンでお届けしています。☒

ご希望の方は「メルマガ希望」として本文に住所、氏名を明記のうえ danjo@pref.okayama.lg.jp に電子メールでお申し込み下さい。お申し込みはウイズセンターホームページからでもできます。☒

配信は毎月1回（15日頃）行っています。☒

・ホームページアドレス <http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/danjo/>☒

※携帯電話では文字数制限等によりご覧いただけない場合がありますので、携帯アドレスへは i モード対応版のウイズセンターホームページの「更新」をご案内いたします。☒

受講生募集

●男女で学ぶ介護講座 講演と実技指導☑

日 時：4月19日(土)☑

〔第1部〕講演 13:30～14:50 (定員120人)☑

「介護にんげん模様」～少子高齢社会の「家族」を生きる～☑

講師：春日 キスヨさんかすが (松山大学大学院 人文学研究科教授)☑

〔第2部〕実技指導 15:00～16:30 (定員70人) ☑

「家庭で役立つやさしい介護」☑

介護を受ける人にとって優しく、介護をする人の負担も軽減される介護のコツを学びます。☑

講師：江里 美代子さんえり みよこ (赤十字家庭看護法指導員)☑

会 場：ウィズセンター☑

受講料：無料☑

申込期限：4月16日(水)まで。(先着順)☑

申込方法：電話、FAX、はがき、Eメール(danjo@pref.okayama.lg.jp)☑
で①氏名(ふりがな)②電話番号③講演会のみ・実技指導のみ・講演会及び実技指導のいずれかをお知らせ下さい。☑

そ の 他：託児あり(無料・要電話予約、4月12日(土)締切)☑

申込・問合せ先：☎086-235-3307 (ウィズセンター)☑



●子育てママのための☑
「もっと自分を好きになる講座」☑

本当はもっと子どもにやさしくなりたい
自分をいいお母さんと思えない…
子どもにイライラするときどうしたらいいの？

講演と自己尊重トレーニング☑

日 時：5月20日(火) 10:30～12:30☑

講師：北村 年子さんきたむら としこ☑
(ルポライター、フリージャーナリスト、自己尊重トレーニング・トレーナー)☑

会 場：ウィズセンター☑

定 員：50人(先着順)☑

受講料：無料☑

申込期限：5月17日(土)まで☑

申込方法：電話、FAX、はがき、Eメール(danjo@pref.okayama.lg.jp)☑
で①氏名(ふりがな)②電話番号③「子育て支援講座」希望とお知らせ下さい。☑

そ の 他：託児あり(無料・要電話予約、5月13日(火)締切)☑

申込・問合せ先：☎086-235-3307 (ウィズセンター)☑



●平成19年度 男女共同参画地域フォーラム (実績)☑

ウィズセンターでは市町村との共催により、男女共同参画社会の実現に向け、県内各地域でフォーラムを開催しました。☑

開催日☑	開催日☑	内 容 等☑
井原市☑	10月20日(土)☑	講演：「誰もが自分らしく生きるために」☑ 講師：白石 真澄 (関西大学政策創造学部教授)☑
玉野市☑	11月11日(日)☑	講演：「きっと毎日が楽しくなる！心地いい家族のカタチ」☑ 講師：山田 亮 (スーパー主婦)☑
総社市☑	11月25日(日)☑	講演：「熱中時代宣言 ～40歳を過ぎてからの夫婦・親子愛～」☑ 講師：太川 陽介 (俳優)☑
奈義町☑	1月18日(金)☑	演奏：「私らしく、自分らしく」☑ 奏者：桂 七福 (落語家)☑
赤磐市☑	1月19日(土)☑	講演：「女房が宇宙を飛んだ ～女性の生き方、男女の新たな共生～」☑ 講師：向井万起男 (慶應義塾大学医学部准教授)☑
真庭市☑	1月20日(日)☑	講演：「変わる勇気、変える勇気 ～男女共同参画社会づくり～」☑ 講師：辛 淑玉 (人材育成コンサルタント)☑
瀬戸内市☑	2月10日(日)☑	人形劇：「人形劇で笑って学ぼう女性の生き方」☑ 講師：ねぎぼうず SAYO (人形一人芝居)☑
笠岡市☑	2月24日(日)☑	演奏：「すてきにパートナーシップ すてきにハーモニー」☑ ～ヴィオラとピアノの調べにのせて～☑ 出演：沖田 孝司 (ヴィオラ)・千春 (ピアノ)☑



「若者向け男女共同参画啓発キット」について

昨今、男女の対等なパートナーシップに対する認識不足が原因とみられる若い男女間における暴力などが問題となっていることなどから、特に若者を対象とした男女共同参画の意識の醸成が課題となっています。

そこで、県では、若者向けの「男女共同参画啓発キット」を作成しました。

キットでは、男女共同参画に関わる様々なエピソードを通じ、「男女共同参画」とはどのようなものかをゲーム感覚で楽しみながら学べるようになっています。

☒

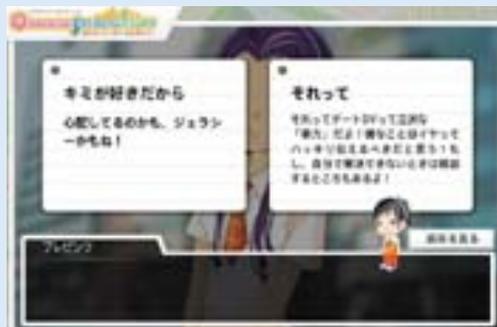


また、「デートDV」や「性別による固定的な役割分担意識」など、あらかじめテーマを選んで、エピソードや関連資料を表示できる「プレゼンテーションモード」の機能もあるので、研修会等において活用することも可能です。

なお、このキットは県内の高等学校に配付するほか、4月上旬には、男女共同参画課ホームページでも公開する予定です。

●男女共同参画課ホームページ☒

URL：http://www.pref.okayama.jp/sosohiki/kakuka.html?sec_sec1=26☒



※画面はイメージであり、内容やデザイン等は変更する可能性があります。

ウィズライブラリー

～未来の地球のために今私たちができること～

図書☒

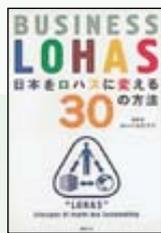


『モットアイで地球は緑になる』☒

・ワンガリ・マータイ 著☒
・福岡伸一 訳☒
・木楽舎(2005年)☒

「モットアイを国際語として広めよう」と世界各地で呼びかけているノーベル平和賞受賞のケニア人女性ワンガリ・マータイが「グリーンベルト運動」について著した邦訳本。彼女はいかに貧しい農村女性を励まし、政治腐敗と闘ってきたのか。☒

図書☒



『日本をロハスに変える30の方法 -BUSINESS LOHAS-』☒

・NPOローハスクラブ 著☒
・講談社(2006年)☒

地球を救うモノづくり、まちづくりのヒントが見つかるビジネス本。会社や社会をLOHASに変えるために欠かせない30のポイントや、LOHAS的と言える企業・団体・自治体の事例が紹介されている。☒

図書☒



『フード・マイレージ -あなたの食が地球を変える-』☒

・中田哲也 著☒
・日本評論社(2007年)☒

フード・マイレージとは食べ物の量×運ばれてきた距離のこと。世界最大の食料輸入国である日本に住む私たちの「食」という身近な問題を通して、持続可能な社会の実現に向けて進んでいくために、地球環境を考える。☒

図書☒



『戦争をやめさせ 環境破壊をくいとめる 新しい社会のつくり方』☒

・田中優 著☒
・合同出版(2005年)☒

戦争や環境破壊の問題は間接的ではあるが、私たち市民が解決する責任を負っていると考えるかもしれない。社会のしくみを変えることができる貯金・買い物・投票行動・エネルギー消費などの具体的な方法を提案する。☒

利用者からのメッセージ

message

ウィズセンター運営委員、センター情報誌「With」編集委員などで活躍中のお二人から、センター利用者としての声をいただきました。



つちや ひとみ
土屋 瞳さん (倉敷市)

私が住んでいる真備町からウィズセンターまでは結構遠いのですが、センターへ来ると県内各地での講演会や研修会の情報が手に入り、聞きたい、参加したいと思っていた講演会等への参加が叶うのでとても便利です。また、「With」の編集作業に携わり、会議の中で皆さんと男女共同参画について楽しく意見交換を行っています。これからも、ウィズセンターを大いに活用し、地域での活動へ繋げていきたいと思っています。



たからべ じゅんこ
財部 順子さん (岡山市)

男女共同参画という、硬そう、難しそうというイメージですが、ウィズセンターで行われている様々な講座に参加して、社会で活躍する素敵な講師と出会い、元気・勇気の元をたくさんいただいています。電話やEメールで簡単に申し込みができ、男女共同参画社会やジェンダーを知らない方も理解しやすい内容ですので是非参加してみてください。センターの職員の温かい雰囲気と優しい笑顔にまた行きたいなと感じられます。

男女が共に輝くおやかまづくり

子育ては協力しあって



父親が積極的に子育てや家事をすることによって、仕事を持つ母親は、より働きやすくなるのではないのでしょうか。

ウィズセンターの紹介

男女共同参画社会とは、男女の人権が等しく尊重され、お互いが支えあい、利益も責任も分かちあえる、いわば、女性と男性のイコール・パートナーシップで築き上げるバランスのとれた本当に豊かな社会です。ウィズセンターはこうした男女共同参画社会づくりを推進していくための施設です。

情報提供

- 図書・ビデオの貸出
- 人材情報・各種団体の活動情報の提供
- 男女共同参画に関する資料の閲覧

各種講座

- 男女共同参画に関する各種講座の開催

相談

- 女性の相談員による生き方・家族や夫婦などの悩みの相談
- 弁護士・医師による相談

就業支援

- 就業相談
- 就業に役立つ講座の実施
- 就業に関する情報の提供

交流

- 各種団体へ活動・交流の場と機会を提供

広報

- 情報誌の発行 (年4回)
- メールマガジンの配信 (毎月)

DV防止法に基づく「配偶者暴力相談支援センター」としてDV被害者からの相談や情報提供を行っています。

ウィズセンター利用のご案内

- 開館時間 ☑ 火～土曜日 / 9:30～20:00 ☑
日・祝日 / 9:30～17:00 ☑
- 休館日 ☑ 月曜日及び年末年始 ☑
- 相談員による ☑ 一般相談 ☑ 火～土曜日 (祝日を除く) / 9:30～17:00 ☑
☑ 就業相談 ☑ (受付は16:30まで) ☑
- 特別相談 ☑ (予約制) ☑
☑ 弁護士による法律相談 / 原則第2・4金曜日 ☑
☑ 医師によるこころの相談 / 原則第1・3金曜日 ☑
☑ 医師によるからだの相談 / 原則第1土曜日 ☑
- 電話 ☑ 086-235-3307 (代表) ☑
086-235-3310 (一般・特別相談) ☑
086-235-3309 (就業相談) ☑
- ホームページ ☑ <http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/danjo/>



- 交通案内 ☑ 岡山駅から徒歩10分 ☑
☑ バス / NTT岡山前下車すぐ ☑
☑ 天満屋バスターミナルから徒歩2分 ☑
☑ 市内電車 / 清輝橋行き 郵便局前下車すぐ ☑

センターへのご意見はご遠慮なくハガキ・FAX・Eメールまたはセンターの提案箱へ
ウィズ春号 (vol.44) 2008年3月発行 ☑
編集・発行 / 岡山県男女共同参画推進センター (ウィズセンター) ☑
〒700-0821 岡山市中山下1-8-45 ☑
NTTクレド岡山ビル17階 ☑
TEL (086) 235-3307 (代) FAX (086) 235-3306 ☑
Eメール: danjo@pref.okayama.lg.jp